

地域で支えあう

やさしい街づくり

少子・高齢社会の今日、日常生活の中で何か困りごとができたとき、あなたはどうしているでしょう。ご近所に親身に相談に乗ってくれる人や地域に頼りになるボランティアの方々がいるかもしれません。しかし、どこに相談していいのかお困りの方は「福祉のまち推進センター」を活用してみるのはいかがでしょうか。



八軒中央地区の配食サービス。多くの方々に喜ばれています

地区福祉のまち推進センター

区に、地区福祉のまち推進センターが八カ所あるのをご存知でしょうか。平成七年以降に、市と札幌市社会福祉協議会・各区社会福祉協議会が協力して各区に設置したものです（全市で八十八カ所）。

核家族が進む現在、一昔前ではよく見掛けられた近所との付き合いが少なくなっています。しかし、私たちの生活の中には、さまざまな不安や困りごとが隠れています。そこで、同じ地域に住む方同士が見守り合い、助け合うシステムが地域に根付くよう、お手伝

いをするために設置されたのが地区福祉のまち推進センターです。

地域に助け合いの仕組みを

地域の中でさまざまな問題が起きる前には、必ずその前兆が見られます。不安や困りごとを抱えた方と日常的に接することができると、地域住民こそ、問題を未然に防いだり早い段階で見出し、解決したりすることができるのです。

福祉のまち推進センターでは、地域の方々に「福祉推進員」や「住民協力員」になってもらっています。一人暮らしの高齢の方や障がいのある方、子育て中の

福祉のまち推進事業の目的と基本目標

幅広い市民の福祉活動への参加により、地域ぐるみで互いに支え合う環境を整え、誰もが安心して暮らせる地域社会をつくることを目的としています。

- (1) 地域住民の日常的な支え合い活動の推進
日常生活の延長上で出来る範囲で、互いに温かい心配りをし、地域での支え合い活動を推進する。
- (2) ボランティアによる福祉サービスの推進
日常的な支え合い活動で解決できない問題に、区保健福祉部などと連携を取りながら、市民ボランティアが行う福祉サービス活動を推進する。

方などに対して、簡単な日常生活の支援を行うほか、交流行事の開催、研修会、広報啓発活動など、それぞれの実情に応じた活動をしています。

八軒中央地区福祉のまち推進センターでは、昨年十月から配食サービスを行っています。月に一回、食事を届けながら悩み事などの相談にも応じることができ